

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/07/09

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.43	-0.04
JPY/THB	0.2265	-0.0004
USD/JPY	160.83	0.08
EUR/THB	39.43	-0.09
EUR/USD	1.0824	-0.0016
USD/CNH	7.286	-0.003
SGD/THB	26.99	-0.05
AUD/THB	24.55	-0.06
USD/INR	83.50	0.01
USD Index	105.00	0.13

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.447	-0.018
10Y (THB)	2.670	-0.012
5Y (USD)	4.239	0.014
10Y (USD)	4.278	0.000

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,363.5	-34.2
WTI (Oil)	82.33	-0.83
Copper	9,915.0	-29.0

Stock

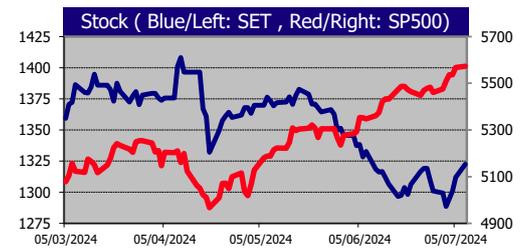
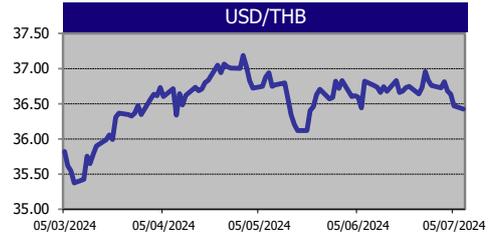
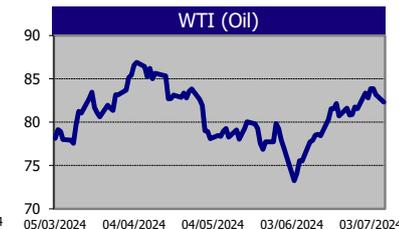
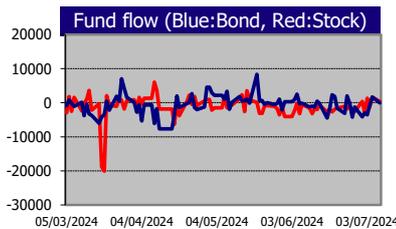
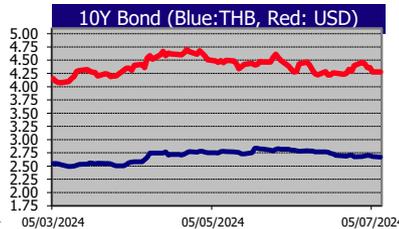
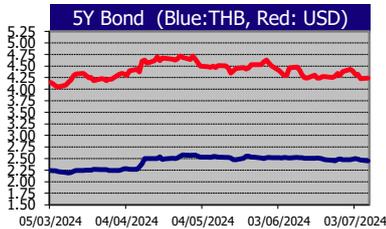
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,322.50	10.51
NIKKEI (JP)	40,780.70	-131.67
DOW (US)	39,344.79	-31.08
S&P500 (US)	5,572.85	5.66
SHCOMP (CN)	2,922.45	-27.48
DAX(GER)	18,472.05	-3.40

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	384	-1304.3
Bond net flow	(92)	-1704.4

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツはほぼ変わらず。先週末の米雇用統計後のドル売り基調が継続し、36パーツ台半ばで取引を開始。午後にはタイ首相による、これまで財政悪化の懸念要因であったデジタル通貨給付計画の詳細を今月24日に発表する、との報道を受けて、ドルパーツは小幅反発したが、海外時間に入った後、米金利が再び低下する動きを受けて下落。その後は新規材料を欠き、36.43レベルでクローズ。

●ドル円その他

昨日のドル円は一進一退の展開。160円台後半で取引を開始。先週末の米雇用統計が円買い材料となったほか、本邦5月賃金統計の高い伸びを受けて日銀の追加利上げが意識され、円買いが加速し、約1週間ぶりの水準となる160円台前半を付けるも、その後、フランスの選挙結果を受けてユーロドルの買戻しとともにドル円も160円台後半まで戻す展開に。欧州オープン後、ユーロ円が高値を更新する動きを横目にドル円も161円を突破。しかし、NYオープン後米金利の低下を受けて160円台前半まで反落。米6月NY連銀1年先インフレ期待の結果が2カ月連続で低下と発表されたが、影響は限定的となり、その後は特段新規材料を欠き、今週9日、10日のFRB議長証言と11日の米6月CPIを控え、様子見ムードが広がり、ドル円は160円台後半の水準で動意乏しく推移し、160.83レベルでクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

昨日発表された本邦5月名目賃金の現金給与総額は+1.9%と29ヶ月連続プラスとなったが、実質賃金の算出に用いる持ち家の帰属家賃(持ち家が借家とみなし、得た賃料を即座に消費する)を除くCPIは3.3%と高い水準となっており、差し引きで実質賃金が-1.4%の26ヶ月連続マイナスとなった。持ち家の帰属家賃を除くCPIの上昇率はコアCPIの上昇率よりも一貫して上回っており、足元は拡大している傾向(3月は0.19%、4月は0.35%、直近の5月は0.8%)。政府による電気・ガス代補助金の終了に伴いコアCPIは5-7月の期間に押し上げられると予想されるため、春闘の好調な結果が反映される中で名目賃金の上昇率が高まっても、実質賃金プラス転換のハードル度が依然と高く、賃金統計だけで日銀が7月に追加利上げに踏み切ることは難しいのではないかと考える。(Li)